

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 12日 (18:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	1人	8人

前回の改善計画
突然の情報共有については、口頭で伝える・その日のリーダーが共有ノート等で文面化する事で情報を全職員に落とし込むようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
突然の情報共有等ラインワークスを活用する事で、全職員が情報共有出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9	1	1	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	10		1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	7		1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	1	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者・家族と積極的にコミュニケーションをとり、会話し情報収集する事が出来た。 情報収集する事で今困っていることなどが家族や本人から聞き取りが出来た。 困っている事をケア会議で話し合い今後の支援に反映する事が出来た。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	全利用者・家族と時間をかけて話している時間が少ない 理由としては、家族が仕事で忙しくゆっくり話せる場を作れていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	定期的に家族にケアマネと話し合いの時間を作れるように時間コントロールをする。 具体的には年間スケジュールで第〇〇週・〇曜日・〇時から行う等、家族様が予定を作れるような環境を作っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18 : 00~19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	2 人	人	8 人

前回の改善計画
 ご本人様の状態変化に随時対応できるように送迎時のご家族様への聞き取りを行い、全職員が家族・本人の目標「～したい」に対しての対応の統一化できるようなシステムの構築を行う。
 具体的には、全職員共有のラインワークスで必ず情報を周知する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ラインワークスを活用する事で全職員が情報把握できており、ケアの統一化が出来るようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	3	6	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	5	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		4	7	1	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		1	7	4	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ラインワークスで情報の統一化が出来ており、本人の目標である「～したい」を達成出来るようにスタッフ一丸となり支援に努めていけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 情報量が多い場合、要約ができずスタッフに伝えるのに時間がかかってしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ケアマネが、スタッフに伝えるのに時間がかかってしまっている理由としては現場を兼任している為、現場優先になり時間を作れていない。改善するにはケアマネ業務の時間確保すること。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年 11月 12日 (18:00~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥 佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	5人	1人	人	8人

前回の改善計画	利用者や家族様のこうしたいなどの気持ちに対して聞き取りがうまく出来るために家族を含めたケアカンファの開催を努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアカンファの開催は、出来ていないが送迎時・来設時など家族のこうしていききたい等の聞き取りを実施し出来ている。取組結果としては改善出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	7	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	2		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	6	2	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	1	1	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフそれぞれの関わりでの出来事などは、ミーティングや業務の中で職員同士の情報共有出来ている。
---------------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 全職員が、新しい利用者の生活歴等把握できていない。 理由としては、新規が2人・3人と重なって入ると、情報量が多く頭に入っていない。
----------------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 各職員に於いては2人・3人と重なって入ってくるケースも多く、ケアの中で声掛けし情報収集していく。意思疎通のできない利用者については、個人ファイルを各々で確認していくなどして利用者1人1人の情報収集に努めていく。
----------------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18 : 00～19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	1 人	人	8 人

前回の改善計画
駄菓子屋を継続し地域の子供たちとの関わりを持っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
町内会で駄菓子屋を出店した事で、地域の子どもたちとの関わりを持っていけている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	4	3	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	8	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	5	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご本人や家族との関わりあいを把握し、家族との関係性を配慮した支援が出来ている。
通い時に楽しく過ごして頂けるような環境作りをしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人が暮らしていく上で必要な行政支援の把握が出来ていない部分もある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
行政のホームページ等確認し事業所としての引き出しを増やしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	3人	1人	8人

前回の改善計画
うまく言葉にすることが難しい方へのニーズの汲み取り方として、筆談や声掛けした時の反応などで汲み取っていくように職員一同努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
うまく言葉にすることが難しい利用者の方については、筆談や声掛けした時の反応等で汲み取っていく事が全職員出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	4	3	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	2	1	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	8		2	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9		1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
小多機ならではの柔軟なサービス提供を、それぞれの利用者に対して行えている。
本人の良くなった事や出来なくなってきた事等の情報を記録に残し、職員間で共有出来ている。
地域資源である訪問歯科や配食サービス・訪問理美容等を活用しながら支援している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特になし

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
出来ている点を継続していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 11月 12日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	1人	3人	2人	8人

前回の改善計画

自治体や地域包括支援センターとの会議には参加が出来ていないが、事業所は町内会の役員に加わり地域の防災活動や、土砂災害時における一時避難場所、医療と地域の連絡協議会メンバーなので、地域での活動について職員が積極的に参加出来るような環境を作っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケア連絡会に参加するなど、他事業所との関わりを強くしていった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		3	2	7	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			1	11	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	1	9	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	5	1	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

当事業所は町内会の役員に加わり地域の防災活動や、土砂災害時における弱者の一時避難場所、医療と地域の連絡協議会メンバーとして地域との連携強化を図っている。
事業所に駄菓子屋コーナを設けて地域の子供（園児・小学生・中学生）たちと利用者との交流を図っている。
近くの園から、よさこいソーランを園児が施設で披露してくれた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

特になし

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者以外の高齢者や子供達等の地域住民が気兼ねなく訪れる事の出来る環境作りをする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18 : 00～19 : 00)

7. 運営

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	2 人	2 人	3 人	8 人

前回の改善計画
職員一人一人が責任を持ち、業務だけでなくより良い環境で運営出来るように、接遇担当・清掃担当・レクレーション担当等の担当制にする。 その他、オムツ交換研修やボディメカニクス研修等を行う事で、ケアの質の向上に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員一人一人担当制にする事で、責任感を持ち良い環境で運営する事が出来るようになってきた。 AED 研修を全員参加で行い、有事の際対処出来るように努めていった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	2	5	4	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		1	5	6	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	3	7	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	町内会でのお祭り参加・地域の園児を招きソーラン節を披露してもらう等、積極的に地域と交流を深めている。 AED 研修を全員参加で行い、有事の際対処出来るように努めていった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	職員の運営に対しての意識不足もあり事業所のあり方について、意見を言ってくる職員が少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	職員と運営について意見交換出来る場を設ける

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2人	3人	3人	8人

前回の改善計画
年間研修の組み込みは引き続き継続していきながら、リスクマネジメント研修として出来る内容の組み込みを行う。
ケアの統一方法の検討を行いケアの質の向上を目指す。
オムツ研修・AED 研修等外部から招きホーム内で行い、職員一人一人のケアを向上させ質の高い提供を行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
毎月ケア会議を行う事でケアの統一化が出来ている
AED 練習用機材を使用して職員一人一人が対処出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	1	5	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	2	8	12
③	地域連絡会に参加していますか			1	11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		4	5	3	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内で実施する研修は原則としてパートを含む全職員を対象として実施している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
リスクマネジメントの部分では職員間でのやり取りで共有できない部分もあった。
パート職員で研修内容実務に相違があるときもあったため研修内容が適正であるか検討する必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
リスクマネジメントについて研修する場を設け、全職員が理解出来るように努めていきケアの質を向上させるための取組みを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 12 日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 小川・軍司・寺澤・河端・佐々木直美・奥
佐々木勇輔

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	3人	1人	人	8人

前回の改善計画
身体拘束については、行われていないがスピーチロックが知らないうちにしてしまっている場合がある。スピーチロック（言葉の拘束）の事例検討会などを行う。 拘束についても改めて研修日程を組み込みスピーチロックのないホームを目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束について、研修日程を決めて実施し周知出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2			12
②	虐待は行われていない	10	2			12
③	プライバシーが守られている	2	8	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	7	2	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	6	2	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者への虐待について行われていない。 必要な利用者については、成年後見制度を活用している。 利用者のプライバシーについては、配慮した声掛けが行われている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	虐待の知識はあるも成年後見人制度についての理解度が乏しい

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	研修日程を取組、成年後見人制度についての理解を深める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和 8 年 2 月 20 日

法人名	医療法人社団棕櫚の会	代表者	一木 崇宏	法人・事業所の特徴	1人1人のニーズに対して柔軟に対応が可能、尊厳を大切にしています。宿泊も可能です。当事業所の建物内は訪問診療クリニックも併設されており、クリニックの患者様で小多機を利用している利用者様については急な体調不良でも往診対応が素早く出来るため安心して過ごせます。訪問介護もなじみのあるスタッフが自宅まで訪問いたします。レクレーションも随時開催し、楽しみのある環境を整えています。
事業所名	まるごとケアの家ホサナホーム	管理者	小川 剛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	2人	0人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	突然の情報共有については、口頭で伝える・その日のリーダーが共有ノート等で文面化する事で情報を全職員に落とし込むようにしていく。	突然の情報共有については、ラインワークスで全職員に周知出来ている。	共有ノートの活用だと見忘れ等がある為、ラインワークスでの周知のほうが情報共有出来ると思う。	引き続き情報共有の手段としてラインワークスを活用し、全職員が情報の把握に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様がやりたいことや出来る事を抽出し活力あるイベントを実行出来るような環境づくりをしていく。	レクレーション担当者が年間スケジュールを計画し、実行出来ており利用者・職員共に楽しめる環境づくりが出来ている。	利用者を楽しませようと職員が一つになっている。 自分たちも楽しくイベントに参加出来ている。	年間スケジュールを計画し、限りある予算内で最大限に楽しめるようなイベントづくりをする。
C. 事業所と地域のかかわり	町内会の会議や推進会議に参加を継続的にしていく事で事業所と地域のかかわりを強くしていく。	入退職もあり町内会の会議等に参加する事が難しかった。	事業所の事を地域にもっと知ってもらいたいと思う。	地域との交流の場として町内会の会議にも積極的に参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域のイベントに参加をする・駄菓子屋を継続するなどをしていき地域の子供達との関わりを持っていく。	町内会の夏祭りに駄菓子屋出店や敬老会に園児を招いてよさこいソーランを踊ってもらおう等地域の子供達との関わりが持てた。	これからも、地域との関わりを大切にしていきたいと考えている。	地域住民との関わりを夏祭りの駄菓子屋出店や地域のイベントに参加する事で強くしていく。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を開催する事で、地域住民が小規模多機能居宅介護の理解を深め地域の方々が利用しやすい環境の構築	推進会議については、計画通り開催出来ている。	より多く参加してもらうためにどうしたら良いかを検討する必要がある。	推進会議については来期年間スケジュール作成しより多く参加出来るようにしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年間スケジュール以外で定期的に防災訓練を行っていく。	年間スケジュール通りに定期的な防災訓練を行う事が出来た。	地域での役割など有事の際に、迅速に動けるようにするにはどうするかを検討が必要。	地域の役割などを職員に周知して意識づけていく。